

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 2 年 10 月 30 日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 宍粟市山崎町中広瀬133番地6

氏名 宍粟市長 福元晶三

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0790-63-3128

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	上寺浄水場
事業場の所在地	宍粟市山崎町上寺350番地
計画期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	3611 上水道業
②事業の規模	233万m ³ （令和元年度）
③従業員数	19人（令和2年4月現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	原水→沈殿池→汚泥濃縮槽→汚泥貯留槽→加圧脱水機→収集運搬→ ↑ ↑ 排出量 処理委託量 処分→再生路盤材

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別紙1のとおり
(管理体制図)	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	排出量	2212 t	t
	(これまでに実施した取組) 水処理設備の最適な運転による汚泥濃縮性の向上 維持管理者の監督、指導		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	排出量	2200 t	t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物排出量の減量を検討 処理施設の運転方法の確立		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2212 t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2200 t	t
(今後実施する予定の取組) 脱水作業効率の向上 汚泥脱水設備の運転方法の確立			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	全処理委託量	82 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	82 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) コンテナ積載車による安全、確実な収集、運搬をするための慎重な業者選定 リサイクル活用できる処理方法		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	
	全処理委託量	81	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0	t
	再生利用業者への 処理委託量	81	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t
	(今後実施する予定の取組) コンテナ積載車による安全、確実な収集運搬 リサイクルの推進		

(第6面)

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

(管理体制図)

担当課責任者	所属	： 宍粟市建設部次長兼課長
浄水処理施設維持管理担当	所属	： 宍粟市建設部上下水道課施設係長
維持管理委託会社業務総括責任者	名称	： 日本メンテナンスエンジニアリング（株）山崎事業所長
役割	担当課 上下水道課	浄水処理施設の維持管理及び廃棄物処理方針・計画の策定 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認 維持管理委託業者、産業廃棄物処理委託業者の調査、策定 管理委託業者による維持管理状況の把握と改善策の検討 監督官庁への各種報告 維持管理委託業者に対する指導・教育・啓発 その他関係する事項
	維持管理委託会社 業務総括責任者	浄水処理施設維持管理業務計画の策定 維持管理進捗状況並びに水処理 ・ 汚泥処理設備の運転管理状態の把握 産業廃棄物の汚泥処理及び管理 ・ 排出状況の確認 各担当技術員の監督並びに指導
	廃棄物収集運搬・ 処理業者	収集運搬の安全確保 委託者への業務遂行に係る連絡 ・ 報告

